

第60号

2021. 4. 20

日本歯科技工士連盟機関紙

れんめい

発行 日本歯科技工士連盟
東京都新宿区市谷左内町21-5
歯科技工士会館内
発行人 石原義博
編集 日本歯科技工士連盟

執行部提出の全議案が可決成立 2021年度評議員会

日本歯科技工士連盟（会長・杉岡範明）は、去る3月13日（土）、歯科技工士会館において2021年度評議員会を開催した。新型コロナウイルス感染防止の観点から書面表決方式を採用しての開催となった。

開会に先立ち議長団の選出があり、清水潤一評議員（大阪）が議長に、佐野雅哉評議員（静岡）が副議長に選出された。

開会にあたり議長より、書面表決の返信が60名中58名からあった旨の報告がなされ、2021年度評議員会の開会が宣言された。議事録署名人の選任は議長一任となり、片岡均評議員（三重）、榎倫生評議員（和歌山）が指名された。会長挨拶は紙媒体での配付をもって代えられた。

その後、議長が議案審議に入る旨を議場に告げ、はじめに「第1号議案・2021年度修正予算の承認を求める件」について賛否数の確認を山下茂子評議員（大阪）及び事務局に求めた。評議員より郵送された書面表決書を集計した結果、書面表決返却数58名中58名の賛成により可決承認された。次いで「第2号議案・2020年度活動一般報告の承認を求める件」についての賛否数確認を行った結果、58名中56名の賛成により可決承認された。あわせて「第3号議案・2020年度会計収支決算の承認を求める件」



についても同様に賛否数確認を行った結果、58名中58名の賛成により可決承認された。また、「第4号議案・旅費規定一部改正の件」についても確認を行った結果、58名中57名の賛成により可決承認された。

その後、議長は協議事項に移る旨を議場に告げ、執行部に協議事項の提案を求めた。執行部より、

第26回参議院議員通常選挙における日技連盟推薦比例代表選出議員候補予定者に関して、連盟執行部数名と地区ブロック代表の評議員6名により選考委員会を立ち上げ協議し、組織内手続きを踏み次期評議員会に諮る旨の説明がなされた。

最後に議長団より議事進行への協力御礼があり、全日程が終了した。



2021年度評議員会 会長挨拶

日本歯科技工士連盟
会長 杉岡 範明

2021年度評議員会開催にあたりご挨拶申し上げます。

今般、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が首都圏の1都3県で延長される等、まだまだ収束の見通しが立たない状況が続いています。本評議員会も評議員皆様の過半数の同意を得て、書面表決による議会運営とさせていただきます。改めて、ご理解を賜りましたことに感謝申し上げます。

また、今年度から、持続可能な組織運営に主眼を置いた規約改正によって、年1回の評議員会開催による組織運営がスタートいたします。あいにく、新型コロナウイルス感染症という予

期せぬ社会状況の中で活動することになります。これを好機と捉え、ICTを積極的に活用しながら、組織運営の効率化を図り、本連盟の目的である「歯科技工士の社会的、経済的地位の向上及び歯科医療の発展のために、民主主義に基づく政治活動を推進する」ことを体現して行かなければなりません。

さて、私が7年前、この任に就くにあたって第一に考えたことは、分かり易い連盟活動に徹しようということでした。そこで、「目指している方向」、「そのために取り組んでいること（時系列）」、「具体的な事例」の順で、連盟活動を明瞭に示すことによる情報共有に努めてきました。そ

して、目指している方向は、ぶれることなく歯科技工士に関わる「経済課題」、「教育課題」、及び「委託の法令整備」等の解決に他なりません。

国も、歯科技工士は口腔機能の回復において重要な役割を担っており、高齢社会が進展する中で、ますますその存在が不可欠であることを認めています。その上で、近年の歯科技工士養成施設及び入学者の減少と離職者の増加などによる就業歯科技工士の高齢化が進んでいること。背景には、養成課程や職務内容、歯科技工所における労働環境の問題等、未解決の課題があることを指摘しています。その課題解決のために、検証事業に対する予算執行、検討会の設置、厚生労働科学研究の実施など、多方面からの取り組みが進められており、かつてないほど良好な状況であると言っても過言ではありません。この成果こそ、これまで取り組んできた中長期的な戦略と行政、国会議員、及び関係団体との信頼関係によって構築されたものです。

引き続き、コロナ禍にあっても歯科技工士の未来を見据え、政策実現に向けて組織一丸となって取り組むことを願い、挨拶いたします。

事前質問要望事項・回答

《質問①》今年行われる衆議院議員選挙への対応について。(重点議員の対応)【鳥取：小屋本評議員】

《質問①への回答》歯科技工士に関する制度推進議員連盟所属の議員を中心に、地域組織連盟と連携を図りながら本連盟の活動に理解を示す候補者を推薦します。また、衆・参両院議員候補予定者推薦基準に基づき、地域組織連盟から本連盟に推薦依頼がある場合は、従来通り総務会の議を経て地域組織連盟と連名で推薦します。重点議員の対応は、今後立ち上げる本連盟選挙対策本部で具体的に検討し対応する予定です。【大西理事長】

《要望②》機関紙『れんめい』の内容充実について。【鳥取：小屋本評議員】

《要望②への回答》ご要望の主旨を確認しましたところ、機関紙『れんめい』59号の記事について、2020年度第2回評議員会当日配布資料にある質問要望事項と回答が、すべて掲載されていないことの原因はなぜかとのことですが、紙面の都合上一部割愛して掲載していることをご理解ください。また、本連盟の総務会の報告書を掲載してほしい旨のご要望ですが、報告書は、総務会で承認の上、時機を得て各地方組織連盟に送付しておりますので、機関紙『れんめい』には掲載しておりません。【大西理事長】

《質問③》コロナウイルス対策の対応の検証。【鳥取：小屋本評議員】

《質問③への回答》今回の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う様々な公的支援については、歯科医療従事者としての「歯科技工士」と歯科技工を行う施設としての「歯科技工所」を峻別して考えなければなりません。

特に、令和2年度の第二次補正予算における医療従事者等への慰労金や今回の新型コロナウイルス感染症に係わるワクチンの優先接種については、病院、診療所、薬局において新型コロナウイルス感染症患者・疑い患者(以下「患者」という。)と頻繁に接するかどうかという実態の観点で区切られます。

よって、「歯科技工所」は患者と頻繁に接する施設ではないことから、当然、病院、診療所、薬局の括りには入りません。しかし、歯科医療機関に勤務しており、かつ業務として患者に頻繁に接するのであれば、優先接種の対象となり、委託業者である歯科技工所の「歯科技工士」が歯科医療機関で業務として患者と頻繁に接する場合は、歯科医療機関の判断で対象となります。一方、歯科医療機関に勤務・出入りしていても、患者とほとんど接しないのであれば、優先接種の対象にはなりません。なお、申請等は歯科医療機関をとおして都道府県行政に行なうことになります。

これらの対応については、厚生労働省、日本歯科医師会の協力を得ながら進めてきました。

また、「歯科技工所」に対する様々な支援策は纏めて日技ホームページに一括掲載し、それぞれの施設に相応しい選択が図られるように情報提供しています。さらに、昨年のマスク、アルコール消毒液(アルコール消毒液については危険物としての法定保管場所がなく断念)の入手が困難な折には、厚生労働省の仲介を受けて対応しました。【杉岡会長】

《質問④》次期参議院議員選挙についてお伺いします。2020年度第2回評議員会への質問に対する回答を拝読させて頂きましたが、「時期を見て第26回参議院議員通常選挙日技連盟推薦比例代表候補予定者選考委員会を立ち上げ、課題について鋭意検討し、その結果を日技連盟の総務会・評議員会での機関決定

を踏まえて対応する」とのことでした。

ご承知のように、日歯連盟は次期参院選の組織内候補予定者として山田宏氏を選定し、高橋英登会長は45万票獲得が目標と掲げられたそうです。歯科三団体連盟役員懇談会はコロナ禍で、今年度は開催されていないとのことですが、歯科三団体が一致団結して対処しても、過去の実績から見て至難の票数です。日歯連盟からの推薦依頼、山田宏日歯連盟組織内候補予定者との懇談の有無、日技連盟の推薦候補予定者選考委員会、総務会での検討状況について詳細な情報提供をお願いいたします。

宮崎県歯科技工士連盟(以下、本連盟)は、過去において幾ら反対を唱えたとしても、機関決定されたことについては、その実現に向けて全精力を傾注して来ました。「それが組織人として当然である」との信念からであり、今後もその姿勢に変わりはありません。

しかしながら、本連盟理事12名に次期参院選について問うたところ、日技連盟の決定に従う4名(33%)、日歯連盟の要請に応じる2名(17%)、自主投票とする5名(42%)、未回答1名(8%)でした。日歯・日技連盟の要請に応じると自主投票(未回答者含む)が二分されたことは、想定外で非常に驚きました。この結果は、過去に「車の両輪」として囃され、懸命になって支援したのにも係わらず、経済問題(歯科技工料金)等を始め、日技連盟が掲げる諸懸案事項が何一つ解決していない焦燥感から出ているものと推察しています。

次期参議院議員選挙は、政権政党に逆風が吹き荒れている中で実施されます。考えようによっては、歯科技工士が抱える諸問題解決の糸口を掴む千載一遇の好機とも言えます。渉外力に乏しいと言われたいためにも、単なる社交辞令として推薦するのではなく、日歯連盟、山田日歯連盟組織内候補者、歯科技工士に関する制度推進議員連盟の先生方と虚心坦懐に話し合われ、その結果を評議員会で披瀝したうえで、推薦の可否についての協議をお願いしたいと存じます。【宮崎：宮永評議員】

《質問⑤》次期参議院議員選挙推薦候補予定者の決定方法及び日本歯科技工士連盟の方針について。【奈良：

小野山評議員】

《質問④⑤への回答》次期参議院議員通常選挙比例代表候補予定者の推薦については、2020年度第2回評議員会の質問でもお答えした通り、選考委員会を立ち上げて、歯科技工士に関わる課題等とその解決工程等を聴取するなどし、鋭意検討して総務会、評議員会で機関決定する方針に変化はありません。

候補予定者選考の要件は、歯科技工士の政策に真に取り組み、現状の環境を改善・整備することへの貢献が求められます。そのため、選考過程において候補予定者との懇談等も視野に入れております。また本連盟の歴史にも鑑みて考慮する必要があると考えています。

選考委員会は、本評議員会終了後に速やかに立ち上げる予定であり、委員会の内容は総務会に報告することとし、最終的には評議員会での議を経ることを旨と考えています。【大西理事長】

《要望⑥》法令改正についてお尋ねいたします。「日技の仕事は、法令改正をすることだ。」と、先達より聞いたことがあります。懸案事項の歯科技工料問題、学制改革、歯科補てつ物の委託・受託問題等々の何れもが法令改正を必要としています。

しかるに、「それを実現するには、法令改正が必要ですから…」との消極的な発言を耳にすることが多々あります。本連盟理事に日技・県技・支部のみの会員を認めるかどうかについて意見交換をしたところ、全員が認めるとのことでした。それだけ日技に入会することへの魅力がなくなっているのではないのでしょうか。前途多難なことかもしれませんが、『一歩前進』の姿勢で法令改正に臨んで頂きますようお願いいたします。【宮崎：宮永評議員】

《要望⑥への回答》歯科技工士の中央組織である日本歯科技工士連盟の活動は様々ですが、その中でも、ご指摘のとおり法令改正は中央組織が取組まなければならない最も重要な役割であると思っています。歯科技工士に関する課題解決のために必要な法令改正については、引き続き、しっかりと取り組んでまいります。【杉岡会長】

2021年度評議員懇談会開催

日本歯科技工士連盟は、3月13日(土)午後1時45分より2021年度評議員懇談会をWeb会議形式で開催した。

同日開催された2021年度評議員会を含め、これまでに3回の評議員会がコロナ禍において書面表決にて開催されたことを受け、評議員と意見交換を行う機会を設けるため開催したものである。

懇談会は大西清支理事長の司会で進行し、挨拶に立った杉岡範明会長は、開催趣旨の説明のあと、忌憚のない意見交換が行われるよう期待している旨、述べられた。

その後、大西理事長より、2021年度評議員会の議案表決結果報告、第26回参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補予定者の日技連盟推薦議員選定方法について説明があり、評議員との間で意見交換が行われた。評議員からは、次期衆議院選挙への対応、第26回参議院議員選挙での日技推薦候補予定者の



決定について等の意見が寄せられた。

最後に石原義博副会長が閉会の挨拶として、「本来なら皆さんが一堂に会して意見交換が行える機会があればよいが、コロナ禍においてなかなかそのような場が設けられないため、事態が収束するまで、このような機会を設けていきたい」と述べ、懇談会を終了した。